

令和6年度 入学式

式辞

満開の桜が美しい春の季節となりました。この生みなぎる春の日に、ご来賓の皆様、さらにご家族の皆様にご臨席をいただき、ここに本校第41回入学式を挙行できますことは、新入生はもとより、私たち教職員、在校生にとりまして、大きな喜びでございます。ご臨席の皆様にご心からお礼を申し上げます。

本日、埼玉コンピュータ&医療事務専門学校は第41期の新入生を迎えることができました。入学された皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの入学を心からお祝い申し上げます。また入学に際し、皆さんを励まし支えてこられたご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。

本校は、昭和59年創立の埼玉電子工学院専門学校に始まり、今年で41年の歴史を有しております。これまで先進的な実学教育を取り入れ、優れた人材を多数送り出すという実績を重ねてまいりました。

その実績をもとに行われる本校の講義や実習は、質の高い職業実践教育となっており、5つの学科すべてが文部科学大臣から職業実践専門課程の認定を受けております。この認定制度は、企業や医療機関等との密接な連携により、実践的な職業人教育の質が確保されていることを証明するものであります。

皆さんがこれから取り組む授業並びに学内外の実習は、その認定された授業であり実習であります。修業年限は、2年という限られた期間ですが、皆さんには5つの分野で専門職の基礎をしっかりと学び、これからの社会を支える職業人として、実践力を着実に身に付けていただきたいと思っております。

また本校は、各種の国家試験や検定試験に対する対策を十分にサポートし、就職活動に当たってはキャリアセンターを中心に相談・支援体制を整えており、皆さんをしっかりと支えてまいります。入学後は皆さんが、本校の教育システムによって、職業実践専門課程をきちんと終えることができるよう環境を整えておりますので、安心して勉強に励んでください。

さて、皆さんは本校に入学し、新しい分野を学ぶこととなりますが、学びとは誰のため、何のためにするのでしょうか。もちろん自らの意志で入学し、学ぶことを選択したのですから、自分自身のためであることは間違いありません。しかしそれだけではありません。学びとは、誰かを守り、社会を豊かにしていくものでもあります。

皆さんがこれから得られる専門的知識や技術、そして取得する資格は、たくさんの人々が抱えている問題を解決するために用いる、という使命もあります。そして、たくさんの人々の未来を実現する、一つの役割を担えるものにもなります。つまり、学ぶということは、自分自身を成長させるとともに、他者に寄り添うことのできる力を育み、社会を発展させられる、ということをお心にとめて本校で学んでほしいと思っております。

結びになりますが、皆さんの夢を将来につなげていくため、より良い学生生活を送れるよう、教職員一同全力でサポートすることをお約束し、式辞といたします。

令和6年4月9日

埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
校長 高野庸夫